

2019年9月26日

18名のモンゴル人医師・技師が広島市で研修を受けます

モンゴルで呼吸器疾患の診断能力向上を目指す

独立行政法人国際協力機構（JICA）は広島県およびNPO 法人総合遠隔医療支援機構とともに、草の根技術協力事業「塵肺症および石綿（アスベスト）曝露による呼吸器疾患の早期診断能力の向上プロジェクト」を実施しています。その一環として、**モンゴル国の放射線科医師、技師 18名を広島市に招聘し、下記のとおり研修を実施**します。5日間の研修では、**講義のほか CT 検査実習、画像診断研修などを行い、呼吸器疾患の診断能力向上を目指します。是非取材をご検討ください。**

【事業背景】

鉱業はモンゴルの主要産業ですが、鉱山で働く労働者への配慮は十分でないことに加え、寒冷地であるモンゴルでは断熱効果の高い石綿（アスベスト）が今も使用されており、アスベスト曝露により引き起こされる代表的な悪性腫瘍である中皮腫や塵肺症の発症が予測されますが、統計上は発症数が少なく、診断能力が十分ではないことがうかがえます。そこで、塵肺症とアスベスト曝露による呼吸器疾患の診断能力に係る知識の向上及び診断能力の向上を目的として、本プロジェクトが開始されました。

【研修日時・場所】

日付	時間	プログラム	場所
10月15日	9時～9時半	開校式	株式会社病理センター
	10時～12時	CT 検査実習	株式会社エムネス
	13時～16時	画像診断実習	広島大学病院、株式会社エムネス
10月16日	9時半～11時半	CT 検診に関する講義	株式会社病理センター
	13時～16時	画像診断実習	広島大学病院、株式会社エムネス
10月17日	9時半～12時	画像診断後の治療方針に関する講義	吉島病院
	13時半～15時半	PET-CT 検査の有用性に関する講義	株式会社病理センター
	16時半～18時半	施設見学	広島平和クリニック
10月18日	9時半～12時	アスベスト曝露関連疾患に関する講義	株式会社病理センター
	17時～18時	施設見学	広島がん高精度放射線治療センター
10月19日	9時半～12時	伝送画像の読影研修	株式会社病理センター
	13時～16時	コンサルテーション例の検討	株式会社病理センター

今回は11月に病理医及び技師13名が来広して研修を行う予定です。

【研修・現地取材についてのお問い合わせ先】

NPO 法人総合遠隔医療支援機構（代表：井内康輝、担当：田中美樹）TEL：082-221-1222

【事業に関する問い合わせ先】

JICA 中国 市民参加協力課 担当：山本
 TEL：082-421-6305 FAX：082-420-8082
 E-mail：Yamamoto.Chikara@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

